

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 5 月 9 日 (2019.5.9)

【公開番号】特開 2019-19080 (P2019-19080A)

【公開日】平成 31 年 2 月 7 日 (2019.2.7)

【年通号数】公開・登録公報 2019-005

【出願番号】特願 2017-138843 (P2017-138843)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/81 (2006.01)

A 6 1 Q 1/10 (2006.01)

A 6 1 Q 3/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/81

A 6 1 Q 1/10

A 6 1 Q 3/02

【手続補正書】

【提出日】平成 31 年 3 月 28 日 (2019.3.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

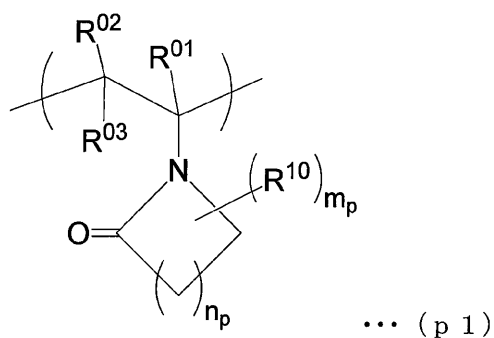
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

イソプレングム粒子と、(P) 成分：下記一般式 (p 1) で表される繰り返し単位 (u 1) を有するポリマーと、を含有する、化粧品。

【化 1】

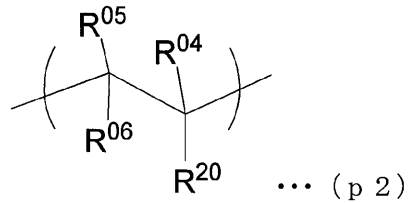


[式中、 R^{01} 、 R^{02} 及び R^{03} は、それぞれ独立にアルキル基又は水素原子を表す。 n_p は 1～4 の整数である。 R^{10} は、置換基を表す。 m_p は 0 から ($n_p + 1$) の整数である。]

【請求項 2】

前記 (P) 成分におけるポリマーは、さらに、下記一般式 (p 2) で表される繰り返し単位 (u 2) を有する、請求項 1 に記載の化粧品。

【化 2】



〔式中、 R^{04} 、 R^{05} 及び R^{06} は、それぞれ独立にアルキル基又は水素原子を表す。 R^{20} は、 $*-O-C(=O)-R^{201}$ 、 $*-C(=O)-O-R^{202}$ 、又は $*-C(=O)-NH-R^{203}$ を表す。 R^{201} 、 R^{202} 及び R^{203} は、それぞれ有機基を表す。 $*$ は、 α 位の炭素原子に結合することを意味する。〕

【請求項 3】

前記 (P) 成分におけるポリマー中の前記繰り返し単位 (u 1) の割合は、当該ポリマーを構成する全部の繰り返し単位 (100 モル%) のうち 50 モル% 以上である、請求項 1 又は 2 に記載の化粧品。

【請求項 4】

前記 (P) 成分におけるポリマー中の前記繰り返し単位 (u 2) の割合は、当該ポリマーを構成する全部の繰り返し単位 (100 モル%) のうち 10～50 モル% である、請求項 2 又は 3 に記載の化粧品。

【請求項 5】

さらに、溶媒を含有する、請求項 1～4 のいずれか一項に記載の化粧品。

【請求項 6】

前記イソプレングム粒子の含有量が 15～55 質量% である、請求項 1～5 のいずれか一項に記載の化粧品。

【請求項 7】

前記 (P) 成分の含有量が 0.1～8 質量% である、請求項 1～6 のいずれか一項に記載の化粧品。

【請求項 8】

さらに、アクリル系ポリマーを含有する、請求項 1～7 のいずれか一項に記載の化粧品。

【請求項 9】

前記アクリル系ポリマーの含有量が 0.5～25 質量% である、請求項 8 に記載の化粧品。

【請求項 10】

二重鹼形成用処理剤、つけまつげ用接着剤、ネイルはみ出し防止剤又はボディペイントである、請求項 1～9 のいずれか一項に記載の化粧品。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

すなわち、本発明の化粧品は、イソプレングム粒子と、(P) 成分：下記一般式 (p 1) で表される繰り返し単位 (u 1) を有するポリマーと、を含有することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明の化粧品において、前記（P）成分におけるポリマー中の前記繰り返し単位（u1）の割合は、当該ポリマーを構成する全部の繰り返し単位（100モル％）のうち50モル％以上であることが好ましい。

本発明の化粧品において、前記（P）成分におけるポリマー中の前記繰り返し単位（u2）の割合は、当該ポリマーを構成する全部の繰り返し単位（100モル％）のうち10～50モル％であることが好ましい。

本発明の化粧品においては、さらに、溶媒を含有することが好ましい。

本発明の化粧品においては、前記イソプレングム粒子の含有量が15～55質量％であることが好ましい。

本発明の化粧品においては、前記（P）成分の含有量が0.1～8質量％であることが好ましい。

本発明の化粧品においては、さらに、アクリル系ポリマーを含有することが好ましい。

本発明の化粧品においては、前記アクリル系ポリマーの含有量が0.5～25質量％であることが好ましい。

本発明の化粧品は、二重瞼形成用処理剤、つけまつげ用接着剤、ネイルはみ出し防止剤又はボディペイントとして好適に利用することができる。